

国際地震工学センター ニュースレター 第 92 号 2013 年 3 月 4 日発行

++++++Contents++++++

1. 13WCSI (世界免震・制振会議) 開催案内および論文募集

2. 2010 年 1 月のハイチ地震から 3 年

フリッツ・オーブラン (2011-12 年地震工学コース修了)、ハイチ公共事業省 MTPTC より

++++++

=====

[1] 13WCSI (世界免震・制振会議) 開催案内および論文募集

第 13 回世界免震・制振会議 (日本免震構造協会 20 周年事業) が 2013 年 9 月 24 日～27 日に仙台の東北大学において開催されます。この国際会議は 2 年に 1 度、開催されるもので、今回は日本免震構造協会 20 周年事業として日本で開催することになりました。皆さんの参加をお待ちします。

公式ホームページ: <http://13wcsi-jssi20.com/> 梗概提出締切: 2013 年 3 月 31 日

斉藤 大樹

会議運営委員会 委員長

豊橋技術科学大学 教授

建築研究所国際地震工学センター 特別客員研究員

-----

[2] 2010 年 1 月のハイチ地震から 3 年

フリッツ・オーブラン (2011-12 年地震工学コース修了)、ハイチ公共事業省 MTPTC より

ハイチの復興はゆっくりではあるが適切な計画無しに進んでいます。政府は主導権を余り持っていません。

1) ハイチ復興基金 (FRH) は世界銀行を通じ、BMPAD (開発援助計画事務所) というほかの地域機関に資金を渡しています。この機関は地域の活動に財政支援をします。いくつかの NGO はこの BMPAD からの資金を受けオペレーターとして機能し、企業が実際の活動をリードしています。政府は彼らを監督したり事業の終了時に証明書を発行するだけのことがあります。

2) 首都のポルトープランスを中心に一部の人々はまだテントに住んでいます。

3) ポルトープランス中で多くの学校が建設されているのを見かけます。

4) 公共事業・運輸・通信省 (MTPTC) は、重要な建築物の確認と許可を開始したところです。

これは MTPTC における私の新しい責任です。

5) MTPTC の主導による職人訓練プログラムのお陰で、人々は建設方法を改善し始めています。

=====

\*\*\*\*\*  
このニュースレターは、これまでの研修生（英語メールのみ）と関係者の方々にお送りしています。  
皆様のご意見や情報をお待ちしております。（編集：J.S.）

Email: [iiseenews@kenken.go.jp](mailto:iiseenews@kenken.go.jp)

website: <http://iisee.kenken.go.jp>

ニュースレター バックナンバー : <http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

\*\*\*\*\*